

ジュニアオリンピック陸上競技大会出場

坂本 千城さん、崎村 謙信さん、吉浦 悠さん、太田 紗彩さん

8月25・26日の両日、トランスコスモスタジアム長崎(諫早市)で平成30年度長崎県中学校陸上競技新人大会兼ジュニアオリンピック県代表選考会が開催され、坂本千城さん(鷹島中2年)が走幅跳種目に出場し、見事優勝、崎村謙信さん(青島中3年)が円盤投種目に出場し、2位入賞を果たしました。また、吉浦悠さん(志佐中3年)が既に3000m種目で参加標準記録を突破しており、3人は、10月に神奈川県で開催される第49回ジュニアオリンピック陸上競技大会に出場します。

坂本さんは、「初めての全国大会。この大舞台で戦えることに嬉しさと緊張の両方を感じています。大会では自分のベストを尽くし、上位入賞できるよう頑張ります」と、崎村さんは、「出場できる喜びと感謝の気持ちを持ち、貴重な経験を楽しんでいきます。正々堂々勝負して結果を残せるよう全力を尽くします」と抱負を語りました。

なお、水泳競技において、太田紗彩さん(志佐中1年)が、8月に開催された第41回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会の女子100mバタフライ種目に出場し、5位入賞を果たしています。

選手たちは、練習環境に制約があるなか、工夫しながら日々練習に励み、全国の舞台で戦える力を身に付けてきました。今後のさらなる成長が期待されます。



▲坂本千城さん



▲崎村謙信さん



▲吉浦悠さん
(写真中央ハチマキ着用)



▲太田紗彩さん

市への保健衛生用品寄贈に対する感謝状贈呈

グロリアス・ジャパン株式会社 金井田 平氏

グロリアス・ジャパン株式会社(金井田平代表取締役社長)から、マスクやハンドジェルなどの保健衛生用品が市に寄贈され、8月17日に感謝状贈呈式が行われました。

今回、市の福祉向上に役立ててもらいたいと1,700万円相当の保健衛生用品が寄贈されました。今後、市内の保育所や学校、福祉施設、各公民館などに配布する予定です。

同社は、長野県安曇野市に本社を置き、物流サービスを中心に幅広い事業を展開されています。今回の寄贈は、6月に開催された東京・鷹島会総会において、鷹島町黒島のご出身である金井田社長が、ふるさと松浦に貢献したいとの想いを市長や議長らに伝えられたことがきっかけで実現しました。

金井田社長は、「郷土への想いを強く持っている人は多い。今回のことがきっかけで、郷土愛から地域活性化に繋がる事案がさらに増えてくれれば嬉しい」と述べられました。

【贈呈品明細】

賞品項目	内容	
ハンドジェル	100 ml	660本
	500 ml	8,640本
	1000 ml	50本
	4000 ml	16本
マスク	Sサイズ	200,000枚
	SSサイズ	142,000枚



アジフライジャック

「AJIFRY AFFAIR」実施

天神書簡—福岡事務所便り—



福岡事務所では8月29日から31日までの3日間、福岡市天神で初となるアジフライメインのイベント「AJIFRY AFFAIR」を実施しました。

味に定評があり、行列のできる人気定食屋「梅山鉄平食堂」をアジフライジャックするスペシャル企画。肉厚で顔を覆うほどの大きさのおいしいアジフライ定食を500円のワンコインで提供しました。29日は、店舗の定休日を返上し、ランチメニューが松浦アジフライ定食だけという特別な食堂に変身。限定150食を求め、開店前から約100人が列をつくりました。市長も駆けつけ、福岡のテレビ、ラジオ、新聞などに松浦アジフライをPRしました。30・31日も同じく500円で各日限定50食用意され、即完売となりました。

さらに、今全国から引っ張りだこの人気イラストレーターNONCHELEEE氏がデザインした「アジフライTシャツ」の販売や、人気劇団ユニットヨーロッパ企画の石田剛太氏が執筆した松浦市を舞台にした連続小説「アジフライに恋して」との連動企画などでイベントをさらに盛り上げました。

満足そうに店を後にするお客様の笑顔に、福岡でのPRの手応えを感じることができ、関係者もアジフライの聖地の実現に胸を膨らませた3日間でした。



▲写真左上はアジフライTシャツ
その他はイベント当日の様子

お問合せ

松浦市福岡事務所
☎ 092-406-2180
✉ matsuura.f@city.matsuura.lg.jp

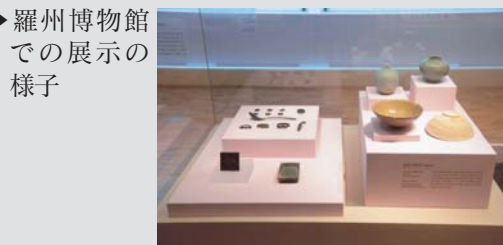


わたしたちの郷土

149
巻



◀ 済州博物館での展示の様子



▶ 羅州博物館での展示の様子



◀ 梱包作業の様子

鷹島海底遺跡の遺物が戻ってきました！

韓国の国立済州博物館（平成29年12月5日～平成30年2月28日）、江華歴史博物館（平成30年3月27日～5月27日）、国立羅州博物館（平成30年6月26日～8月19日）で開催された特別展「三別抄と東アジア」に貸し出していた鷹島海底遺跡の遺物が8月末に埋蔵文化財センターへ戻ってきました。てつはうや鉄製甕などの遺物を実際に見ていただき、鷹島海底遺跡が元寇（蒙古襲来）を理解する上で、大変重要であることを韓国の人たちに伝えることができました。

鷹島海底遺跡から出土した遺物は、国内外の博物館から注目されており、貸し出しの要望を多数受けています。他の博物館に展示されることによって、鷹島海底遺跡はもとより、長崎県松浦市の魅力を広く発信していけるようこれからも取り組みを進めてまいります。